

<参考資料>

◆国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)とは？

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の化学の学力試験から発展した、毎年7月に約10日間開催される「化学」の国際大会です。各国、代表生徒を最大4名まで参加させることができ、近年では70余りの国と地域から、総勢300名近い生徒が参加しています。生徒たちは、個人単位でそれぞれ5時間に及ぶ実験問題(Experimental Examination)と筆記問題(Theoretical Examination)に挑戦し、成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)が贈られます。また、大会期間中には、試験だけでなくExcursionと呼ばれるプログラムが用意されており、その内容はスポーツやゲームから開催国独自の文化を体験するものまで多岐に渡っています。参加生徒たちはこれらのExcursionを通じて他国の生徒との交流を深めていきます。日本は2003年のアテネ大会より参加しており、今年で11回目の参加となります。(国際化学オリンピックの詳細については<http://icho.csj.jp/>を参照してください。)

◆日本代表生徒のこれまでの成績

開催年	回数	開催国／開催都市	金	銀	銅
2003年	第35回	ギリシャ／アテネ大会	-	-	2
2004年	第36回	ドイツ／キール大会	1	-	3
2005年	第37回	台湾／台北大会	-	1	3
2006年	第38回	韓国／慶山大会	1	3	-
2007年	第39回	ロシア／モスクワ大会	-	-	4
2008年	第40回	ハンガリー／ブダペスト大会	-	-	4
2009年	第41回	イギリス／ケンブリッジ大会	2	1	1
2010年	第42回	日本／東京大会	2	2	-
2011年	第43回	トルコ／アンカラ大会	1	3	-
2012年	第44回	アメリカ／ワシントンD.C.大会	2	2	-